



一般部門 消費・安全局長賞

ウーマンズフォーラム魚(WFF)

(東京都中央区)

「浜のかあさんと語ろう会」

東京の消費者と子どもたちを対象に、全国の女性漁業者が海と魚と漁業の大切さを伝え、魚料理を一緒につくって味わう活動を行っています。子どもたちが漁村を訪問するなど、都市と漁村との交流も行っています。



日本は海に囲まれた島国です。それなのに、この国の子どもたちが魚の姿も知らずに大きくなることに私は危機感を持ち1993年、自ら立ち上がることを決意いたしました。以来21年目の今年、この活動をご評価いただき光栄に存じます。



ウーマンズフォーラム魚 (WFF) 代表 白石ユリ子

漁業と魚食文化の意義と役割の伝承

1996年から、女性漁業者“浜のかあさん”に東京の小学校に来てもらい、海の大切さや漁業という仕事の意義と役割、浜でとれた魚の美味しい食べ方を教えてもらう「浜のかあさんと語ろう会」を行っています。これまで、全国110の漁村と東京都内各地の消費者と子どもとの交流に、延べ11,000名が参加しました。



漁村と消費者の交流

「浜のかあさんを訪ねる会」では、漁船に乗って漁業の現場体験をしたり、定置網漁の準備に参加したり、とった魚の仕分け作業を間近で見学することで、農林漁業体験を実現しています。

「海彦クラブ(こどもとサカナ)」では、14年前から小学生記者が漁村での取材体験を記事に整理し、意見交換の場を持つことで、体験を知識に変えています。

